

事務事業評価調書

事務事業名	福祉保健サービス苦情処理事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	行政不服審査法の全部改正に伴う引用する行政不服審査法の規定に係る整備											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	福祉保健サービスを利用している人や、申請をしても利用できなかった人												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	市が行った福祉保健サービスに係る市民の苦情を公平かつ中立的な立場で簡易迅速に処理します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の権利利益を擁護し、もって公正で信頼される市政を推進します。												
(7) 事業概要	市が行った福祉保健サービスの内容に対する苦情や、申請をしても利用できなかった等の苦情申立てを、福祉オンブズパーソンが公正・中立な立場で苦情内容を調査・審査し、必要と認めるときには市に対して是正するよう勧告したり、制度の改善について提言等を行います。苦情の申立ては、原則として書面で行い、福祉オンブズパーソンとの面談日は予約制で実施しています。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		120	0	120	0	120							
	人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	836	0	817	0	806						
	総事業費(A+B)		956	0	937	0	926							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		956	0	937	0	926							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		956	0	937	0	926								
財源計(C+D)		956	0	937	0	926								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 申立件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 市民等が苦情等について申立てるものであり目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	この制度により、困っていることや、満足できないことを福祉オンブズパーソンに相談することができ、市民の福祉サービスを受ける権利利益が擁護されます。			達成状況	申立ては少ないが、より丁寧に説明するきっかけにもなっており、公正で信頼される市政の推進、市民の満足につながっています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の苦情対応窓口としては、市民総務室の公聴相談業務があります。介護保険制度についての苦情は大阪府国民健康保険団体連合会で対応しています。行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく審査請求があります。 上記のように、苦情処理の仕組みは様々にありますが、吹田市福祉オンブズパーソン制度は職員対応では処理が困難な苦情の受け皿になっており、申立件数としては少ないですが、必要な事業です。				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	福祉保健サービス苦情処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00327				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00327
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「(2)有効性」の①のチェック項目については、本事業は苦情対応であり目標の数値化は困難なことから定量的な指標を設定していないため、1点としました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度末現在での申立件数は、事業を開始した平成12年度が4件、13年度2件、15年度1件、17年度3件、18年度1件、21年度1件、24年度1件及び25年度3件の合計16件となっています。</p> <p>本来、苦情や不満はないほうがよく、申立件数は少数です。数値的な目標を掲げることは事業の趣旨からそぐわないものです。しかし、職員対応では解決できない苦情を処理するためには重要な事業であり、「市民の苦情を処理し、納得、安心していただく」という目標に対しては、意義あるものといえます。</p> <p>迅速性としては、職員対応よりは苦情処理に時間を要しますが、申立てから60日以内に通知等を行うことが規則で定められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

市民の苦情対応窓口としては、市民総務室の公聴相談業務があります。介護保険制度についての苦情は大阪府国民健康保険団体連合会で対応しています。行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく不服申立て及び審査請求があります。

上記のように、苦情処理の仕組みは様々にありますが、吹田市福祉オンブズパーソン制度は職員対応では処理が困難な苦情の受け皿になっており、申立件数としては少ないですが、必要な事業です。

事務事業評価調書

事務事業名	社会を明るくする運動事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和26年度	改正内容	募集している標語の変更											
(2) 直近の改正	平成18年度													
(3) 根拠法令等	「社会を明るくする運動」吹田市実施要綱													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民及び社会を明るくする運動吹田市実施委員会構成団体、機関											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	広報活動、駅頭啓発活動、市民集会や地域集会の開催等によって、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について市民の理解を深めます。												
(7) 事業概要	市と吹田地区保護司会、吹田防犯協議会など市内41団体で構成する「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会が、7月を強調月間として、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちへの更生への理解について、市民への広報活動、市内各駅頭での啓発活動、市民集会や地域集会等の開催を行います。実施委員会は独自の会計で運営されており、市は啓発用資材購入費など運動に係る経費の一部を事業費として実施委員会会計とは別に支出しています。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		501	466	519	461	513							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30						
		総額(B)	千円	3,341	3,216	3,268	3,160	2,416						
	総事業費(A+B)		3,842	3,682	3,787	3,621	2,929							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,842	3,682	3,787	3,621	2,929							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		3,842	3,682	3,787	3,621	2,929								
財源計(C+D)		3,842	3,682	3,787	3,621	2,929								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	各地域における地域集会開催件数	目標値	(単位:件)	34.00	35.00	35.00
			実績値	(単位:件)	26.00	22.00		
		達成度(%)		76.5	62.9			
	目標値の積算方法	市内全地区(35地区)での開催件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		141.62	169.50	169.50
				一般財源(単位:千円)		141.62	169.50	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	市民集会、地域集会に多くの市民が参加し、各地域に標語パネルが掲示されます。				達成状況	毎年、各地域からの協力を得て実施することで、この運動の趣旨が市民に広く周知されています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	近年の犯罪情勢をみると再犯者の増加など様々な課題があり、今後も犯罪や非行の予防、罪を犯した人たちの更生に対する市民の理解を深めること、青少年の健全育成の活動を強化することは重要であると考えます。このため、事業の継続的な実施が必要です。事業実施にあたり、市民集会等の実施についてはより多くの市民の参加が得られるような工夫が必要になってきます。						

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	社会を明るくする運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00328				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00328
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

社会を明るくする運動吹田市実施委員会では、毎年、実施状況を振り返り、その反省点の改善に努めています。平成28年度も、啓発パネルの購入への働きかけを強化し、地域集会の開催協力を各地域に呼びかけ、拡充しました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「社会を明るくする運動」は法務省主唱の全国的な運動であり、本市においても市内41団体で構成された実施委員会を結成し、啓発活動を展開している状況です。</p> <p>7月は運動強調月間として、市内各地域では地域集会の開催、啓発ちらしの回覧やのぼりの設置を実施しています。さらに毎年、標語パネルの掲示による協力を地域に依頼し、運動の趣旨をPRする広報活動を行い、犯罪や非行の防止、更生保護についての市民の意識向上を図っています。市はこれらの活動に対し、実施委員会の構成団体の一つとして参加しています。このような市民と行政が一体となって市内一円での大規模な啓発活動を行うことは大変有意義であり、今後も継続して実施していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「社会を明るくする運動」は法務省が主唱する全国的な取り組みです。

事務事業評価調書

事務事業名	日常生活自立支援事業補助事業				
担当部署	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	助成の内容の変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法人に対する助成に関する条例・施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明		事業に要する経費のうち市長が適当と認めるものの総額から(福)大阪府社会福祉協議会(以下、府社協)が支払う委託料その他の助成対象事業に係る収入の額を控除した額の範囲内。											
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	府社協が実施する日常生活自立支援事業の一部について委託を受けている社会福祉法人												
	目標 (どうい状態にしたいのか)	補助金を交付することにより、日常生活自立支援事業を安定して行い、かつ当該事業を継続して実施できるようにします。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人たちの福祉の向上につながります。												
(7) 事業概要	介護保険のもとでの福祉サービスは、自らがサービスを選択し契約することになりますが、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない者は、自らの判断で適切なサービスを受けることが困難な実情があります。そのため、地域で安心して生活できるよう(福)吹田市社会福祉協議会が行う福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを提供する日常生活自立支援事業に対し、経費の一部を補助します。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	05	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8,766	7,326	9,205	7,045	11,632							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	836	804	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		9,602	8,130	10,839	8,625	13,243							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		9,602	8,130	10,839	8,625	13,243						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	一般財源		9,602	8,130	10,839	8,625	13,243							
財源計(C+D)		9,602	8,130	10,839	8,625	13,243								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先	①										
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託			②										
				③										
			主な委託内容											
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①	(福)吹田市社会福祉協議会									
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	① 活動内容	(福)吹田市社会福祉協議会が府社協との委託契約に基づき、認知症高齢者、知的障がい者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭サービス等を提供する事業の経費の一部を補助します。			目標	日常生活自立支援事業が継続的に実施され、判断能力が十分でない要援護者が地域で安心して生活できるようになること。	
	② 成果内容	認知症や知的障がい等により判断能力が不十分な人のうち、100名程度の人が福祉サービス等を利用しており、地域で自立した生活を送ることが可能となっています。			達成状況	恒常的に契約待機者がいる状態ですが、専門員や生活支援員により、継続的に事業が実施されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	(福)吹田市社会福祉協議会が、日常生活自立支援補助事業を継続的かつ安定して実施することにより認知症高齢者や障がい者等の福祉の向上につながっています。 恒常的に生じている待機者を解消し、事業を安定的に運営していくためには、業務体制のさらなる強化が必要です。					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	日常生活自立支援事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00333				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00333
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業では、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人たちを対象に、地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などを行い、生活を支援しています。本事業の推進なくしては、対象となる市民の日常生活に大きな支障をもたらすことは想像に難くないため、今後も変わらぬ水準で本事業に取り組んでゆく必要があります。

また、地域において本事業を推進する(福)吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>日常生活自立支援事業は、(福)吹田市社会福祉協議会が府社協からの委託事業として行っています。従前は、府社協から(福)吹田市社会福祉協議会に支払われる委託料の2分の1を上限として補助金を交付していましたが、平成26年度に当該事業の継続的な実施を支援するために補助対象経費を変更しました。平成28年度においては、対象となる事業経費から事業収入額を差し引いた金額を上限として補助金を交付しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉計画推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	全庁的な附属機関等の見直しに伴い、執行機関の附属機関に関する条例を一部改正し、吹田市地域福祉計画推進委員会の組織及び運営に必要な事項を定めた吹田市地域福祉計画推進委員会規則を制定しています。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法、吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例、吹田市地域福祉計画推進委員会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり(第3次地域福祉計画の目標)												
(7) 事業概要	第3次吹田市地域福祉計画(平成28年度～平成32年度)の推進に向けた検討を行います。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	07	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,894	3,647	760	336	489							
	人件費	職員数	人	1.50	1.60	1.50	1.50	1.50						
		総額(B)	千円	12,528	12,863	12,255	11,850	12,078						
	総事業費(A+B)		16,422	16,510	13,015	12,186	12,567							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		16,422	16,510	13,015	12,186	12,567							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		16,422	16,510	13,015	12,186	12,567								
財源計(C+D)		16,422	16,510	13,015	12,186	12,567								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市地域福祉計画推進委員会を2回開催し、地域福祉計画の推進や進行管理について検討を行いました。また、市民を対象とした地域福祉市民フォーラムを開催しました。			目標	「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」を実現するため、地域福祉の推進を図ります。
	②	成果内容	地域福祉の推進を図るとともに、地域住民の福祉意識を醸成します。			達成状況	地域福祉計画推進委員会からの意見を聞きながら地域福祉施策の検討を行うことで、より効果的な地域福祉の推進を図りました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>地域社会では人と人のつながりが希薄化しつつあり、引きこもりや高齢者の孤独死、虐待など、行政等の関係機関が発見することが難しい新たな課題が表出しています。これらの課題は従来の社会福祉の取組だけで解決することは困難であり、地域住民が地域の問題として認識し、さまざまな社会資源と連携して問題を解決するという地域福祉の推進が必要です。</p> <p>社会福祉法では、地域福祉活動の推進は主に住民が担うことが想定されていますが、活動の条件整備や住民参加の促進などの後方支援は行政等を中心に進めることが求められています。今後も市民の自主的な地域福祉活動を活発化し、公民協働で市民一人ひとりの地域でのくらしを支える仕組みづくりを行っていくため、本事業を継続する必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉計画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00334				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00334
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

地域福祉市民フォーラムの開催をはじめとする、様々な地域福祉施策の取組みを実施しており、事業の妥当性、公平性、持続可能性は一定程度、達成されていると考えます。平成28年4月から平成32年3月までを計画期間とする第3次吹田市地域福祉計画に沿って事業を進めることによって、より一層の地域福祉の増進を図ります。本事業に関連する取組みについては、成果を定量的に示すことが困難であることから、有効性・効率性等の評価手法については、地域福祉計画推進委員会などの意見を参考に今後検討を進める必要があります。

事務事業評価調書

事務事業名	地域支えあいネットワーク推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	日常生活自立支援専門員の配置を削除											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	地域支えあいネットワーク推進事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域における要援護者に対する支援のためのネットワークを構築します。地域住民同士の交流を促進します。												
(7) 事業概要	コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーターを配置し、地域における要援護者等の支援及び地域の総合相談を行うとともに、支援のためのネットワークを構築します。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	08	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		111,588	103,826	102,648	92,900	95,910							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.50	0.60	0.70						
		総額(B)	千円	3,341	3,216	4,085	4,740	5,637						
	総事業費(A+B)		114,929	107,042	106,733	97,640	101,547							
	特定財源(C)		23,557	23,984	23,140	22,672	23,524							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	23,557	23,984	23,140	22,672	23,524							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		91,372	83,058	83,593	74,968	78,023							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		91,372	83,058	83,593	74,968	78,023								
財源計(C+D)		114,929	107,042	106,733	97,640	101,547								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(福)吹田市社会福祉協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		地域における支援のネットワーク構築											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	実相談件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	420.00
				実績値	(単位:件)	0.00	417.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	234.54		
				一般財源(単位:千円)	0.00	180.17		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	相談件数のうち何らかの支援を行った件数の割合	目標値	(単位:%)	0.00	0.00
				実績値	(単位:%)	0.00	100.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	978.02		
				一般財源(単位:千円)	0.00	751.30		
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容					目標	
②	成果内容					達成状況		
		今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
		評価の説明	この事業は、本市の地域福祉推進のための基盤整備を行うものであり、重要な事業であるといえます。コミュニティソーシャルワーカーやボランティアコーディネーターは、少子高齢化や住民関係の希薄化など様々な課題を抱える現代社会において、要援護者を支援し、地域における支えあいのネットワークを構築するための重要な役割を担っています。今後、更なる地域福祉の充実を図るうえで継続して実施することが必要です。					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域支えあいネットワーク推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00335				

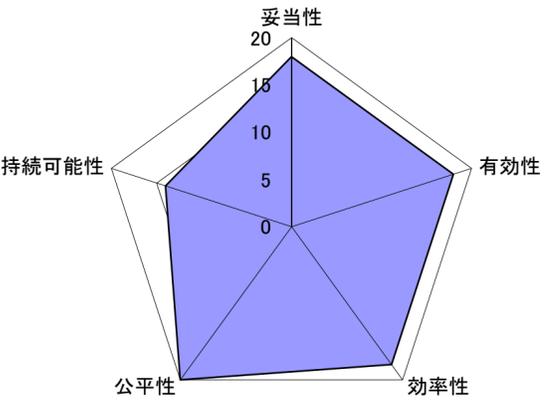
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00335
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>この事業は、地域福祉の推進を目的として策定された吹田市地域福祉計画に基づいて具体化されたものです。地域における住民同士の関係が希薄になる中、要援護者に対する総合相談や行政機関へのコーディネートなど様々な支援を行うコミュニティソーシャルワーカーが果たす役割は重要になってきています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの提供を担うボランティアに対する支援を行うボランティアコーディネーターも、地域福祉の推進に欠かせないものです。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	災害時要援護者支援事業				
担当部署	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成21年度	改正内容	災害時要援護者名簿作成の義務化(災害対策基本法)														
(2) 直近の改正	平成25年度																
(3) 根拠法令等	災害対策基本法ほか																
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10										
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
	範囲等	災害時における要援護者(自主避難が困難な高齢者や障がい者等)															
	目標(どういう状態にしたいのか)	災害時における要援護者について、計画的・組織的な安否確認と適切な避難支援のシステムを構築します。															
	結果(どのような効果が得られるのか)	高齢者や障がい者等の災害時要援護者が安心して生活できる地域ネットワークが構築されます。															
(7) 事業概要	<p>災害時に避難するために支援を必要とする災害時要援護者に対する支援体制の整備を行います。 災害時要援護者の安否確認・避難誘導等の支援を行うネットワークの構築のため、災害時要援護者名簿を作成し、個人情報の提供に同意した要援護者情報を地域支援組織に提供します。 災害発生後、避難所生活において特別な配慮を必要とする要援護者のための福祉避難所の指定等を行います。</p>																
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大	事業	10	中	事業	01	小	事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		851	1,847	2,127	1,465	4,209										
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.50	1.00	1.00										
		総額(B)	千円	8,352	8,039	12,255	7,900	8,052									
	総事業費(A+B)		9,203	9,886	14,382	9,365	12,261										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0									
		国		0	0	0	0	0									
		府		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
	(内訳)	市負担(D)		9,203	9,886	14,382	9,365	12,261									
		地方債		0	0	0	0	0									
		その他		0	0	0	0	0									
		一般財源		9,203	9,886	14,382	9,365	12,261									
財源計(C+D)		9,203	9,886	14,382	9,365	12,261											
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	塚田印刷(株)													
			②														
	主な委託内容		同意確認書発送用封筒の作成、封入封緘業務														
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他	内容																

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	地域支援組織数	指標内容	目標値 (単位:団体)	34.00	34.00	/
			実績値 (単位:団体)	29.00	29.00		
			達成度(%)	85.3	85.3		
	②	市内34地区(おもに小学校単位)	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	340.90	332.24
				一般財源(単位:千円)	340.90	332.24	
				達成度(%)	85.3	85.3	
(2) 成果指標	①	福祉避難所の指定施設数	指標内容	目標値 (単位:施設)	30.00	35.00	/
			実績値 (単位:施設)	27.00	28.00		
			達成度(%)	90.0	80.0		
	②	その年度の目標数値を設定しています。	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	366.15	344.11
				一般財源(単位:千円)	366.15	344.11	
				達成度(%)	90.0	80.0	
(3) が困難な場合	①	活動内容	指標内容	目標値 (単位:)	0.00	0.00	/
			実績値 (単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)	0.0	0.0		
	②	その年度の目標数値を設定しています。	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.0	0.0	
(4) 総合評価	③	活動内容	目標				
		成果内容	達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	地域における災害時要援護者支援ネットワーク構築の推進には、災害時要援護者支援について広く周知を図るとともに、地域支援組織に対し支援体制づくりへの働きかけを継続的に行うことが必要です。災害発生後についても、要援護者が生活していくための福祉避難所の必要性が重視されており、災害発生時にその機能が果たせるよう福祉避難所の設置、運営の検討や、福祉事業者等との連携による支援体制の整備に取組む必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害時要援護者支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00336				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00336
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「向こう3軒両隣り」という近所付き合いを大切にする言葉がありますが、日頃から地域でのつながりを大切にすることが、いざという時に助け合える信頼関係を築いていくことが、災害時要援護者支援事業には必要不可欠です。このような考えのもと、地域では様々な取組を通じて災害時要援護者への支援を実践されています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>東日本大震災や熊本地震等、近年大きな地震等が発生しており、市民の大規模災害への不安が増すと同時に、災害発生時の対応への関心が高まっていると考えられます。</p> <p>災害発生時には、高齢者や障がい者等の要援護者は、必要な情報の入手や自力での避難が困難なことから被害を受けやすい状況にあり、これらの要援護者に対する避難支援体制の構築が求められています。加えて、災害発生後の避難生活においても、要援護者にとっては一般的な指定避難所での生活は健康面や精神面への影響が懸念されることから、福祉避難所の整備についても必要性が認識されているところです。</p> <p>災害発生時における要援護者への支援が適切かつ円滑に実施できるよう、避難支援体制の整備や地域における要援護者支援ネットワークの構築が重要です。また、災害時要援護者名簿の作成が市町村に義務付けられたこともあり、関連部局と連携を図りながら取組んでいく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ふれあい昼食会事業補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	組織名称の変更											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	吹田市ふれあい昼食会事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03 健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	(福)吹田市社会福祉協議会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	ひとり暮らしの高齢者を対象にしたふれあい昼食会を実施した地区福祉委員会に対し、一定以上開催したも のについて(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成することで、ふれあい昼食会事業の内容充実を図りま す。 市内各地域でふれあい昼食会の活動が促進されることで地域福祉の推進が図られます。												
(7) 事業概要	市内にある33地区福祉委員会がひとり暮らしの高齢者を対象に実施しているふれあい昼食会事業のうち、年5回以上の実施分について (福)吹田市社会福祉協議会を通じて参加者1名あたり750円を限度として補助金を交付しています。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,750	3,212	3,750	3,119	3,750							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	836	804	817	790	806						
	総事業費(A+B)		4,586	4,016	4,567	3,909	4,556							
	特定財源(C)		0	14	166	0	166							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	14	166	0	166							
	市負担(D)		4,586	4,002	4,401	3,909	4,390							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		4,586	4,002	4,401	3,909	4,390								
財源計(C+D)		4,586	4,016	4,567	3,909	4,556								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(福)吹田市社会福祉協議会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ふれあい昼食会高齢者参加者数(5回目以降分)	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:人)	4,091.00	3,975.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 ふれあい昼食会は各地区福祉委員会で、それぞれの状況に応じた形態で開催しているため、目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.98	0.99		
			一般財源(単位:千円)	0.98	0.99		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容				目標		
		成果内容	地区福祉委員会が実施するふれあい昼食会が充実し、高齢者への見守りや住民同士が交流する機会が増えるなど、地域福祉の推進につながっています。			達成状況	各地区で実施状況が異なりますが、多くの高齢者や福祉委員が参加し、交流の場となっており、地域福祉の推進につながっています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明	ふれあい昼食会は、地域における高齢者の見守り、相談、発見の場であるとともに、高齢者の孤立化を防ぎ、地域での交流を促進するものです。年間の参加者数も多く、近年では高齢世帯者の参加が可能となるよう希望する声も多くあります。地域福祉の推進につながる事業であり、今後も継続していくことが必要です。					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	ふれあい昼食会事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00340				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00340
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ふれあい昼食会は、地域のひとり暮らしの高齢者が孤立しないよう、地域福祉活動の一環として実施されています。高齢者が昼食会に参加することで、健康増進、寝たきり予防、仲間づくりの効果を得ると同時に、地域での見守り活動につながる事業です。本事業の推進によりふれあい昼食会の内容を充実させることは、地域福祉の向上にもつながるため、さらなる高齢化が見込まれる地域社会にとっては必要不可欠です。
 また、地域において本事業を推進する社会福祉法人吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の増加等により、近年では年間の参加者数が15,000人程で推移しており、地域における需要は高いといえます。 また、高齢者世帯の参加についての要望も多く、今後、支援策の検討が見込まれます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	災害救援活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2)	直近の改正	平成16年度													
(3)	根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市赤十字奉仕団												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	災害救援事業に要する経費に対して補助金を交付し、事業を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害救援事業の推進が図られます。													
(7)	事業概要	火災、風水害、地震その他の災害に支給する災害見舞用毛布等災害用備蓄品の購入に要する経費の支出額に対して16万円を限度として補助します。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	04	目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		160	160	160	160	160							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
		総事業費(A+B)		1,831	1,768	1,794	1,740	1,771							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,831	1,768	1,794	1,740	1,771							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			1,831	1,768	1,794	1,740	1,771								
財源計(C+D)		1,831	1,768	1,794	1,740	1,771									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市赤十字奉仕団										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 火災、風水害、地震等で被災した世帯に対し、吹田市赤十字奉仕団が配付した毛布の配付世帯数	目標値	(単位:世帯)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:世帯)	2.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 火災等の災害発生時に支援を行うものであるため、目標値を設定することができません。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	884.00	897.00		
			一般財源(単位:千円)	884.00	897.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	火災等で被災した世帯に対し毛布等の生活用品を災害見舞品として配付し、被災者への支援を行いました。			達成状況	災害発生時に支援を行うことにより被災者の負担を軽減することができ、災害救援活動の重要な役割を果たしているといえます。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		災害時における毛布等の必要品の配付は被災者救援活動に欠かせないものであり、ニーズが高いといえます。また、常に配付できるよう在庫等の確保も必要です。これらのことから、今後も継続できるよう支援する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害救援活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00341				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00341
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart is a five-pointed star with a scale from 0 to 20. The dimensions and their scores are: 妥当性 (15), 有効性 (10), 効率性 (10), 公平性 (10), and 持続可能性 (10). The area between the axes is shaded blue.</p>		
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

吹田市赤十字奉仕団の目的は、明るく住みよい地域社会をつくる活動を推進することにあります。当該補助金は火災等の災害が発生した際に被災者に配付している災害見舞品(毛布等)の経費を対象にしていますが、この災害見舞品は、火災、風水害等で公民館等の施設に避難した被災者に対し配付しているもので、被災者救援活動には欠かすことのできないものです。

事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉推進事業積立事業				
担当部署	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	設置基金の追加による改正				
(2) 直近の改正	平成27年度						
(3) 根拠法令等	吹田市積立基金条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	指定寄附金				
	目標 (どういう状態にしたいのか)	指定寄附金の地域福祉基金への積立					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域福祉基金積立額の増加					
(7) 事業概要	<p>市民等からの寄附金を地域福祉基金へ積み立て、基金の果実(利子)を地域福祉サービス推進事業へ活用します。 地域福祉基金を活用し市が普通財産として取得した土地を、民間事業者に定期借地契約で賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても、同基金へ積み立てます。</p>						
(8) H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	720	4,468	113	5,791
	人件費	職員数	人	0.00	0.10	0.10	0.10
		総額(B)	千円	0	804	818	790
	総事業費(A+B)		0	1,524	5,286	903	6,597
	特定財源(C)		0	611	0	113	0
	(内訳)	国		0	0	0	0
		府		0	0	0	0
		その他		0	611	0	113
	市負担(D)		0	913	5,286	790	6,597
	(内訳)	地方債		0	0	0	0
		その他		0	0	0	0
		一般財源		0	913	5,286	790
財源計(C+D)		0	1,524	5,286	903	6,597	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②							
③							
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が指標で 困難な場合 を示す	①	活動内容	指定寄附金の地域福祉基金への積み立て。			目標	市民等からの指定寄附金を地域福祉基金へ積み立て、その利息を活用することにより、地域福祉サービスを推進します。
	②	成果内容	地域福祉基金へ積み立てを行うことによる地域福祉サービスの推進。			達成状況	地域福祉の向上。
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民等からの指定寄附金を適正に地域福祉基金へ積み立てています。 また、地域福祉基金を活用し市が普通財産として取得した土地を、民間事業者に定期借地契約で賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても同基金へ積み立てます。				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉推進事業積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01489				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01489
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地域福祉基金への積み立ては、適正に行われています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉推進活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	事業名の改正											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03 健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10								
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	(福)吹田市社会福祉協議会												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	(福)社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された地域福祉の推進を目的とする団体です。(福)吹田市社会福祉協議会が行う地域福祉活動のための経費に対し補助金を交付し安定した事業実施を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地区福祉委員会活動などが活発に行われることにより、地域福祉の増進が図られます。												
(7) 事業概要	(福)吹田市社会福祉協議会が行う地域福祉活動に対し補助を行うことにより、地域福祉活動推進のための組織強化、世代間交流等の小地域ネットワーク推進活動の活性化を図ります。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	15	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	62,480	63,462	64,009							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	0	0	4,086	3,950	4,026						
	総事業費(A+B)		0	0	66,566	67,412	68,035							
	特定財源(C)		0	0	6,817	7,379	7,416							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	6,817	7,379	7,416						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	59,749	60,033	60,619							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	59,749	60,033	60,619								
財源計(C+D)		0	0	66,566	67,412	68,035								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(福)吹田市社会福祉協議会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	グループ援助活動開催件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	1,700.00
			実績値	(単位:件)	0.00	1,701.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	37.31		
				一般財源(単位:千円)	0.00	32.97		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	活動実施地区割合	目標値	(単位:%)	0.00	0.00
	実績値			(単位:%)	0.00	100.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	634.62		
				一般財源(単位:千円)	0.00	560.83		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		前年度の実績を維持	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標		
	成果内容				達成状況			
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		地域福祉活動推進のための取組みが計画的に行われるとともに、各地域でも地区福祉委員会等により、世代間交流等の小地域ネットワーク活動が活発に実施されました。						

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉推進活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01572				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01572
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業では市内各地域において展開されている小地域ネットワーク活動や各地区福祉委員会の活動を支援するものであり、市内の各地域社会における住民同士のつながりづくりに大きく貢献しています。本事業の補助金交付対象団体である(福)吹田市社会福祉協議会は各地区福祉委員などの地域住民に対し自主的に地域福祉活動を推進することを呼びかけており、それぞれの地域ごとの特性を生かした活動の促進に寄与しています。

同協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。行政としてその活動を支援することは非常に重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(福)吹田市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中心的な存在として活動する団体であり、概ね小学校区を単位とした地区福祉委員会を中心に展開される小地域ネットワーク活動の支援など、本市の地域福祉活動を推進していくうえで重要な役割を担っています。このため、同協議会が安定した活動を継続して実施できるよう支援することが重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	福祉活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	新戸 明宏

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成28年度	改正内容	民生委員・児童委員活動補助事業、保護司活動補助事業、献血推進活動補助事業などを統合											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市民生・児童委員協議会、吹田地区保護司会、吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団、吹田地区更生保護女性会												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	各団体の活動に要する経費に対し補助金を支出し、福祉に関する活動を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各団体が実施する福祉に関する活動を通じ、地域福祉の増進が図られます。												
(7) 事業概要	各団体活動に対し、吹田市社会福祉活動補助金等交付要領にある対象経費について補助します。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	16	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		0	0	12,595	12,595	12,595							
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	2.70	2.50	2.50						
		総額(B)	千円	0	0	22,060	19,750	20,130						
	総事業費(A+B)		0	0	34,655	32,345	32,725							
	特定財源(C)		0	0	456	456	462							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	456	456	462						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		0	0	34,199	31,889	32,263							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		0	0	34,199	31,889	32,263								
財源計(C+D)		0	0	34,655	32,345	32,725								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市民生・児童委員協議会										
②			吹田地区保護司会、吹田地区更生保護女性会											
③			吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団											
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 民生委員・児童委員数(3月1日時点)	目標値	(単位:人)	507.00	514.00	514.00	
			実績値	(単位:人)	494.00	486.00		
			達成度(%)		97.4	94.6		
	目標値の積算方法	民生委員・児童委員の定数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	25.92	
				一般財源(単位:千円)		0.00	24.98	
	②	指標内容 地域献血実施回数(献血者の配車台数)	目標値	(単位:台)	120.00	120.00	120.00	
			実績値	(単位:台)	154.00	135.00		
			達成度(%)		128.3	112.5		
目標値の積算方法		35地域×3回+定例(1回)×12か月)+キャンペーン等(3回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	93.30	
	一般財源(単位:千円)				0.00	89.92		
(2) 成果指標	①	指標内容 献血受付者数(延べ人数)	目標値	(単位:人)	7,200.00	7,200.00	7,200.00	
			実績値	(単位:人)	6,716.00	5,999.00		
			達成度(%)		93.3	83.3		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	2.10	
				一般財源(単位:千円)		0.00	2.02	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市民生・児童委員協議会、吹田地区保護司会、吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団、吹田地区更生保護女性会は、それぞれの活動において、地域住民の福祉の増進を目的にしており、各団体が事業目標を達成することにより、地域福祉全体の増進が図られます。今後、各団体の事業を精査し、より効果的に実施されるよう方法の検討が必要となります。					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	福祉活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	01573				

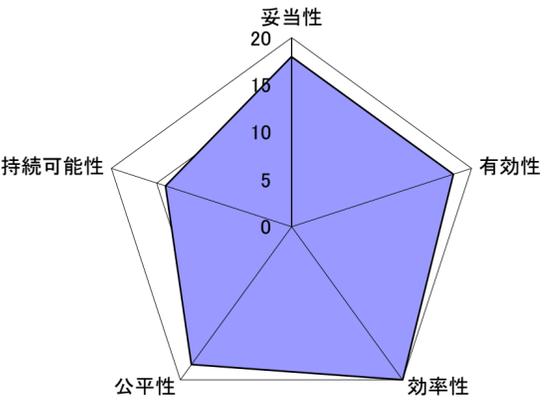
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01573
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市民生・児童委員協議会、吹田地区保護司会、吹田市献血推進協議会、吹田市赤十字奉仕団、吹田地区更生保護女性会は、それぞれの活動において、地域住民の福祉の増進を目的としています。各団体が事業目標を達成することにより、地域福祉全体の増進につながることから、本事業を通じて各団体の活動が効果的に実施されるよう支援することが重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)